

「公共施設の在り方・再編方針」のイメージと検討の進め方

1. 公共施設の在り方・再編方針を策定する目的

令和6年度から令和7年度までの2年間、公共施設在り方検討委員会での検討等を通じて、「小金井市公共施設の在り方・再編方針」の策定を目指す。

このことにより、小金井市公共施設等総合管理計画で定める施設類型毎の基本的な方針の検討を進める上で、ハコありきではなく公共サービスとしての将来の在り方として公共サービスの将来ビジョンや地域拠点化の考え方、集約・複合化の考え方に基づく公共施設再編を図る。

公共施設等総合管理計画

第1章 公共施設等総合管理計画について

- 策定の背景・目的
- これまでの市の取組
- 計画期間
- 計画の位置付け
- 対象資産

第2章 公共施設等の現況及び将来の見通し

- 地理
- 人口
- 財政
- 公共施設等の現況
- 公共施設等に係る更新費用の推計と財政負担の検証

第3章 公共施設等の総合かつ計画的な管理に関する基本的な方針

- 現状や課題に関する基本認識
- 公共施設等の管理に関する基本的な考え方と取組方針
- 建築系公共施設の在り方の見直し
- 全庁的な取組体制の構築及び情報管理・共有方策
- フォローアップの実施方針

第4章 施設類型ごとの基本的な方針

- 建築系公共施設
- 土木系公共施設

公共サービスの将来ビジョン

- ✓ ハコありきではない公共サービスとしての将来ビジョン（あるべき姿）
- ✓ エリア（生活圏）の考え方
- ✓ 集約・複合化の候補や施設組合せの考え方を具体化

公共施設の在り方・再編方針（構成案）

1. 公共施設の在り方・再編方針の位置付け

- 本方針の位置付け
- 本方針の構成

2. 公共施設の現状と課題

- 公共施設の現状（設置状況、基本情報等）
- 将来の見込み（人口推計、財政見通し等）
- 公共施設の抱える課題

3. 公共施設の在り方・再編方針

- これからの公共施設の設置目的
- 公共施設マネジメントの目標
- 公共施設再編の方針（検討対象施設、基本的な考え方）
- エリア別方針

4. 地域拠点施設の在り方方針

- 地域拠点施設の在り方
- 拠点施設への集約・複合化を図る機能
- 集約化・複合化のシミュレーション
- 集約化・複合化により期待される効果と実施上の課題

5. 今後の進め方

- 令和8年度以降の再編検討について
- 事業実施上の課題

※参考資料

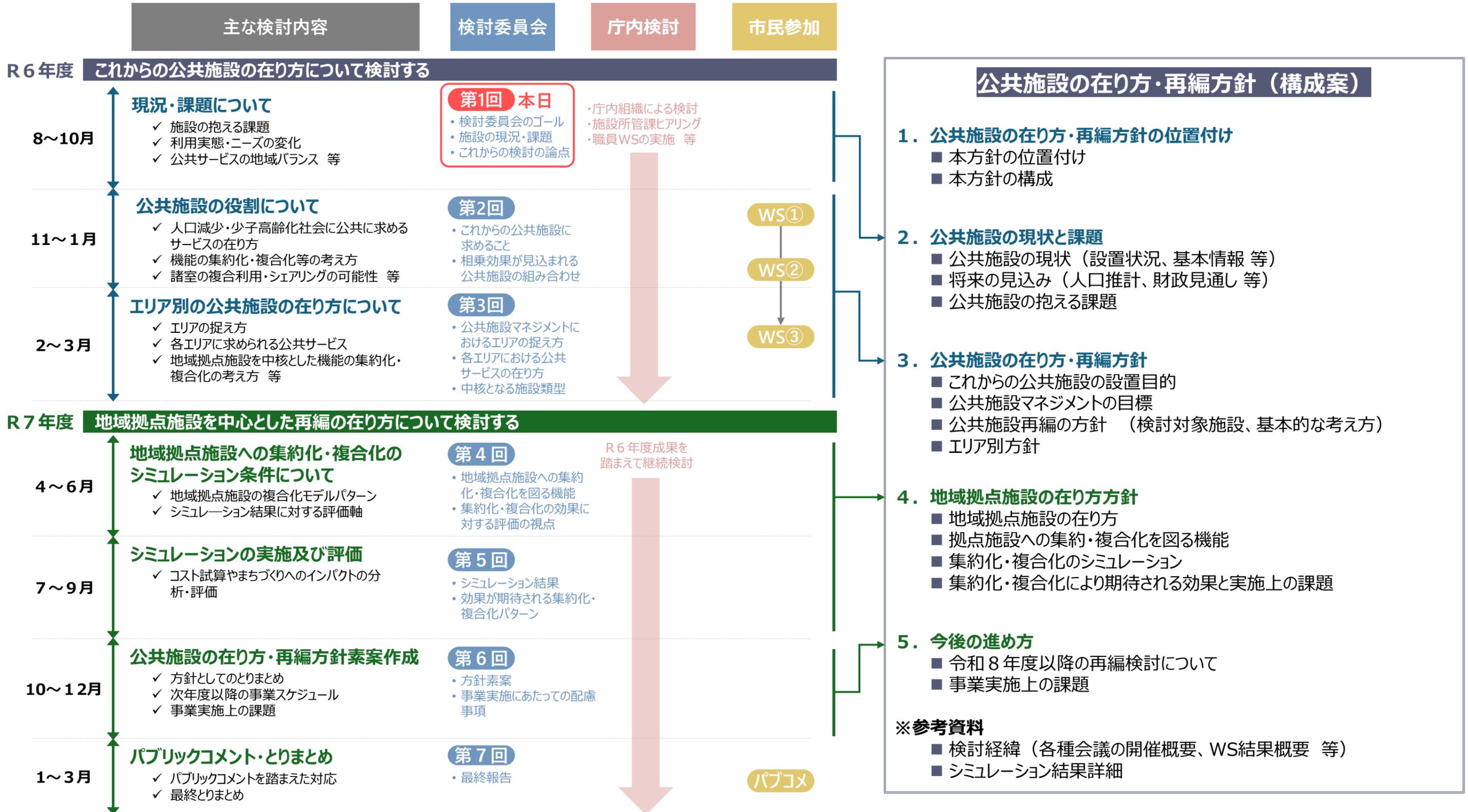
- 検討経緯（各種会議の開催概要、WS結果概要等）
- シミュレーション結果詳細

公共施設の再編等による市民サービスの向上及び持続可能な行政サービスの展開

「公共施設の在り方・再編方針」のイメージと検討の進め方

2. 検討フローと公共施設の在り方・再編方針（構成案）

これからの時代に必要な公共施設の在り方、既存施設の再編について検討を行い建築系公共施設の再編を図るため、公共施設在り方検討委員会、庁内検討、市民参加を通じて公共施設の在り方・再編方針をまとめていく。令和6年度は主に「全施設を対象にこれからの公共施設の在り方について」、令和7年度は「地域拠点施設を中心とした再編の在り方」について検討を行う。



「公共施設の在り方・再編方針」のイメージと検討の進め方

※参考 これまでの経緯

- H23年度** ◆ 公共施設等の課題の「見える化」、「共有化」を図るため「**小金井市施設白書**」を策定
- H25年度** ◆ 「**公共施設マネジメントの構築に向けて**」を策定。
公共施設の維持保全に係る全庁調整・横断体制の構築のための方向性を示すものとして、**総量の抑制、PPPの活用、保有資産の有効活用**の3つの基本原則を定め、公共施設マネジメントの基本的な考え方を整理。

現状課題	将来の要因
<ul style="list-style-type: none"> ➢ 老朽化した大量の施設に関する更新への対応 ➢ すべての公共施設等を保有し続けることは困難 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 人口減少・少子高齢化、厳しい財政見通し ➢ 既存施設の総量と配置を見直す必要性

中長期的な視点に立った公共施設等の在り方に係る基本方針の必要性
(更新への対応、公共施設等の総量や配置等の適正化)

- H28年度 (H29.3)** ◆ 「**小金井市公共施設等総合管理計画**」を策定。
直面する少子高齢化や厳しい財政状況を踏まえつつ、公共施設等の老朽化対策や最適な配置の見直し等を計画的に進めるため管理に関する基本的な考え方や取組方針等をまとめた。

- R2年度** ◆ 「**小金井市公共施設個別施設計画**」を策定。
「**小金井市社会教育関係施設個別施設計画**」を策定。
「**小金井市学校施設長寿命化計画**」を策定。

簡易劣化調査の実施：「公共施設個別施設計画」、「社会教育関係施設個別施設計画」の対象施設について調査を実施し、修繕等の**優先順位を整理**。

- R3年度 (R4.3)** ◆ 「**小金井市市営住宅長寿命化計画**」を策定。

各種個別施設計画に記載した対策の内容を反映させるとともに、
国の改訂指針に基づいた計画の見直しの必要性

- ◆ 「**小金井市公共施設等総合管理計画**」を改定。
財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現するため、各種個別施設計画に記載した対策の内容を反映させ、施設類型ごとの基本的な方針等をまとめた。
● 建築系公共施設 125 施設、508 棟、総延床面積約184,031 m² (令和3年9月末)
● 土木系公共施設

“将来の公共サービスのあるべき姿（ビジョン）”とその実現に向けた
“建築系公共施設の集約化・複合化の考え方の具体化”の必要性

- R6・7年度** ◆ 「**小金井市 公共施設の在り方・再編方針**」を検討 本委員会
- 小金井市公共施設等総合管理計画が改定されるタイミングで統合することを想定

※参考 公共施設等総合管理計画の概要

計画体系上の位置付け

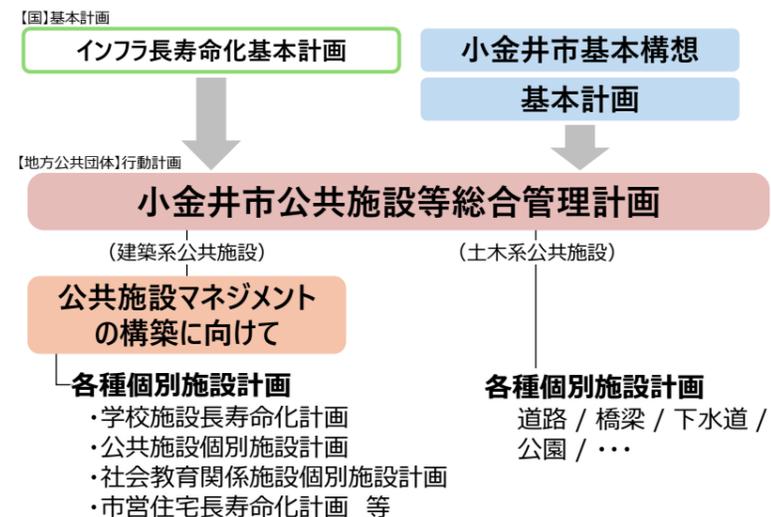
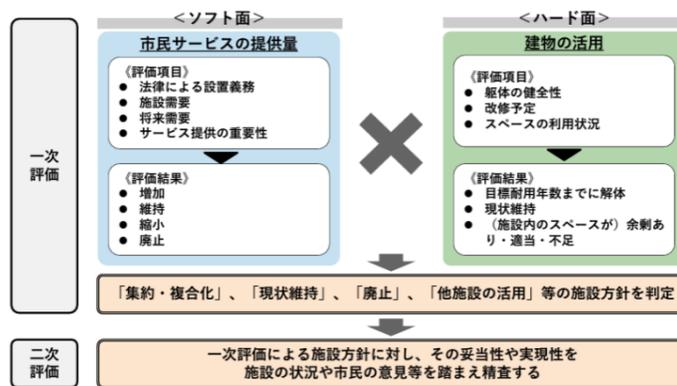
- 公共施設マネジメントにおける最上位の計画。公共施設の現況や将来を俯瞰的に把握し、その上で長期的な視点から公共施設・インフラ施設を総合的かつ計画的に管理していくための基本的な方針や施設類型ごとの基本的な方針を示すもの。
- 国のインフラ長寿命化基本計画の地方公共団体の行動計画にあるとともに、市の再上位計画である「**小金井市基本構想・基本計画**」の将来像達成に向けた、公共施設マネジメントの取組戦略をとりまとめたもの。

基本目標

将来の人口動向に合わせ、総量抑制に努めるとともに、
将来更新費用及び維持管理費の縮減に努めます。

在り方検討のための施設の評価

- 「市民サービスの提供量」というソフトの視点と「建物の活用」というハードの視点の両面から施設を評価
- 施設類型別に右図のような方策を検討



基本的な考え方

1. 施設の更新への対応を計画的に推進します
2. 適切な維持管理によって安全管理を徹底します
3. 資産の有効活用による市民サービスの向上に努めます

方策の概要	方策のイメージ図	
	実施前	実施後
①施設を1箇所にまとめる。 ポイント：建物を効率的に使って、機能を残しつつ施設の総量を減らします。	施設 A (100 m ²) + 施設 B (100 m ²)	施設 A+B (150 m ²)
②民間に運営を委ねる。 (譲渡を含む) ポイント：民間のノウハウを使って、機能を残しつつ市の支出を減らします。	施設 A (市)	施設 A (民間)
③施設の廃止を進める。 ポイント：ニーズに合わせて施設を廃止して市の支出を大幅に節約します。	施設 A	廃止
④建替えの際に規模を縮小する。 ポイント：ニーズに合わせて機能を残しつつ市の支出を大幅に節約します。	施設 C (200 m ²)	施設 C (100 m ²)
⑤別の用途の施設に転用する。 (既存建物を活用) ポイント：新築費用を節約します。	施設 A	施設 B

図：建築系公共施設の在り方・総量見直しのパターン例